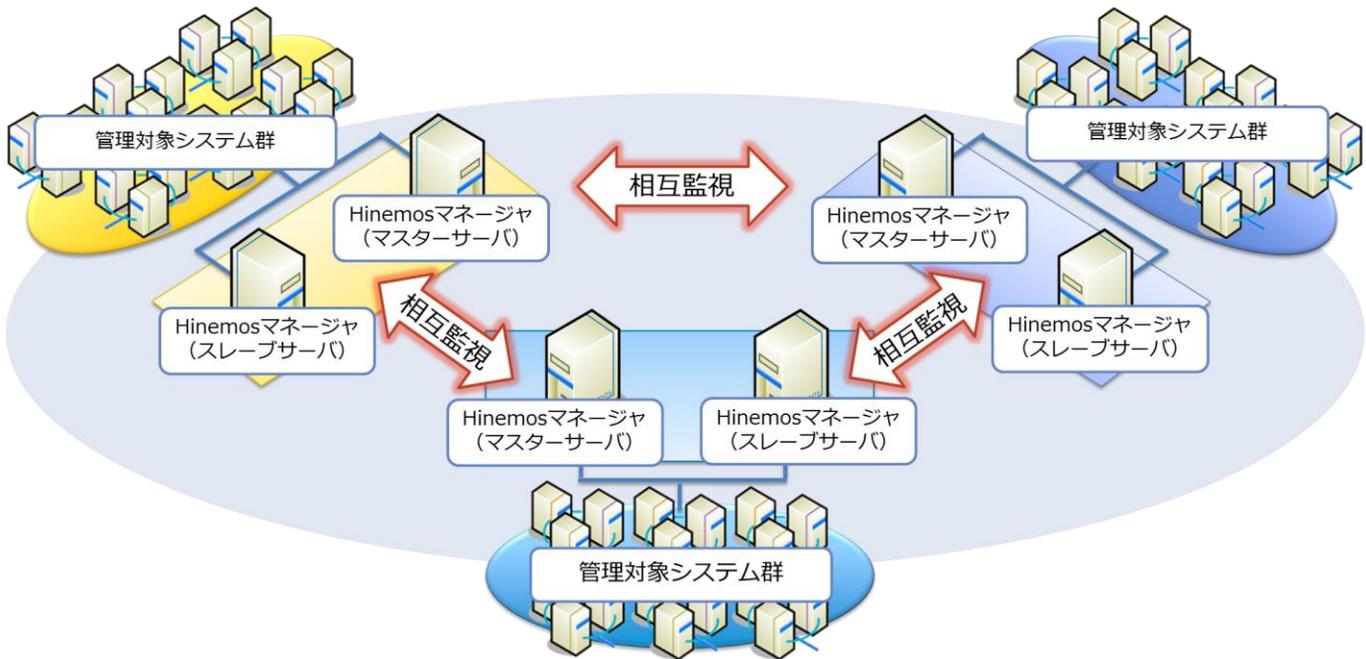


金融分野におけるミッションクリティカルなIaaS基盤・PaaS基盤の統合運用管理を、Hinemosで実現。

株式会社NTTデータ カード決済サービス「CAFIS®」様



70を超えるミッションクリティカルシステムの 統合運用管理をHinemosで実現

カード決済サービス「CAFIS®」の 統合運用基盤

株式会社NTTデータ ITサービス・ペイメント事業本部 カード&ペイメント事業部様が提供する「CAFIS®」は、クレジットカード会社、金融機関、企業、加盟店の間で、クレジット情報（与信照会、売り上げ、等）および、資金移動のオンライン・トランザクションを中継するカード決済統合サービスです。「CAFIS®」では、お客様の営業時間や生活時間に応じていつでもサービスを利用できるよう、日曜・祝日、夜間に関係なく、24時間365日サービスを提供しています。

このようなミッションクリティカルシステムにおいて、2011年に仮想化集約を実施し、それらシステムの統合運用管理を「Hinemos」で実現しています。

ミッションクリティカルシステムの 統合運用管理

「CAFIS®」では、もともと40以上のシステムがあり、お客様へ提供しているサービスとして20弱の

サービス群を運用していました。これらのシステムでは、システムごとに複数のサーバを保有しており、システム基盤（OS、ストレージ、NW、運用監視）も個別最適化されたものを利用していました。その結果、インフラの無駄や運用コスト

お客様プロフィール



株式会社NTTデータ
ITサービス・ペイメント事業本部
カード&ペイメント事業部
課長代理
萩野谷 聡 氏



株式会社NTTデータ
ITサービス・ペイメント事業本部
カード&ペイメント事業部
主任
山本 智恵 氏

★キーとなるHinemos製品やサービス★

- ・Hinemosミッションクリティカル機能
- ・Hinemosクラウド仮想化機能

Hinemos

トの増加が発生し、かつインフラ構築のスピード面とコスト面でスモールスタート型の新規サービスへの対応が難しくなっていました。

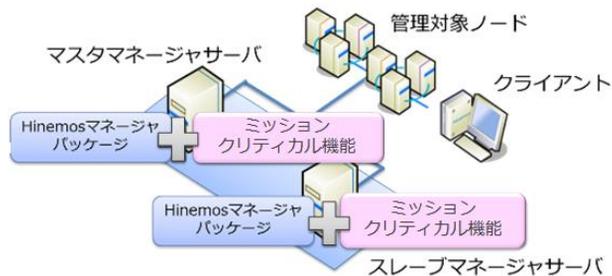
そこで、それらの課題を解決するため仮想化集約によるIaaS基盤、PasS基盤の提供を開始し、集約されたミッションクリティカルなシステムの統合運用管理にHinemosを採用しました。

Hinemosを採用した主な理由は下記の3点です。

- ・ミッションクリティカル運用を実現する高可用性
- ・物理環境から仮想化環境まで網羅する豊富な機能
- ・システム統合後も独立運用可能なアクセス制御

ミッションクリティカル運用を実現する高い可用性

お客様に提供しているサービスは、高いレベルのSLAを締結しており、またジョブに関して処理時間に制限のあるものが多いです。そのため、サービスの継続性に直結する可用性の確保は必須要件でした。その点、Hinemosには、冗長化機能を提供するHAオプション（現在の名称はミッションクリティカル機能）があります。この機能の利用条件は、Hinemosマネージャを2台準備するだけで、専用の共有ディスクや追加のクラスタミドルウェアも必要ないため、コストを抑えつつ、高い可用性を確保することができました。また設定面や運用面においても複雑な設定は不要で、シンプルな操作で構築・運用することができました。



さらに、複数環境のHinemosマネージャ同士がお互いに監視する、相互監視を行っています。ミッションクリティカルなシステムにおける統合運用監視においては、監視できない状況に気づけないことや、ジョブが実行できない状況を検知できないことは許されません。そのため、Hinemosマネージャ同士の相互監視により24時間365日のサービス提供を実現しています。

物理環境から仮想化環境まで網羅する豊富な機能

仮想化を利用しシステムの集約を行いました。その際の課題の一つに、物理環境と仮想化環境、個々の正確な状況把握がありました。仮想化環境の正確な情報を監視するには、仮想化専用の機構を利用する必要があります。しかしHinemosであれば、VM管理機能を導入することで、それら仮想化専用の機構から値を取得し監視することができます。そのため、標準的な監視に加え、仮想化特有の監視もHinemosだけで一元的に管理・監視できます。

これにより物理マシン、仮想化マシン、ハイパーバイザに関する監視結果を全てHinemosに集約し、単一の画面で結果を簡単に確認することができるため、障害発生から検知までの時間を格段に短縮することができました。

システム統合後も独立運用可能なアクセス制御

複数のシステムを統合するにあたり、システムごとに独立してアクセス制御できる必要がありました。特にジョブに関しては、実行のタイミングがシステムごとに異なるため、誤操作防止を機能として提供する必要がありました。

この点、Hinemosではシステムごとにアカウントを分け、ジョブの操作範囲をアカウントに紐づけることができます。これにより、システムごとにジョブの運用を独立させることができるため、運用ミスによる誤操作を未然に防ぐことができました。

最後に

「CAFIS®」の統合運用基盤は、2011年より運用を開始し、年々対象システムを拡大させ、現時点（2016年11月）では70を超えるシステム統合し、900を超える管理対象サーバをHinemosで運用しています。

今後は、大規模なシステム向けにHinemosマネージャをあらかじめ組み込んだ基盤の提供や、さらには海外向けに展開するグローバル基盤の提供など、対象システムを拡大し、引き続きお客様に満足いただけるシステムを提供していきたいと考えています。

お問い合わせ先
NTTデータ先端技術株式会社 ソリューション事業部

2018年03月版

[Hinemosポータルサイト]
<http://www.hinemos.info/>

※本資料で紹介しております製品・内容についてのお問い合わせは上記にて承っております。掲載団体への直接のお問い合わせはご遠慮願います。
「CAFIS」「Hinemos」はNTTデータの登録商標です。その他商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。